

大雨に伴う農作物等の管理の徹底について

令和8年9月2日
富山県農業技術課

9月1日に富山地方気象台から「富山県気象解説情報（大雨）第4号」が発表されました。9月1日と2日午後は大気の状態が不安定となるため、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所があるでしょう。また、3日から4日にかけては南下する前線の影響を受けるため、大雨となる見込みです。雨雲が停滞した場合や、予想より雨雲が発達した場合は、警報級の大雨となる見込みです。

つきましては、以下のとおり農作物等の管理を徹底いただくとともに、今後の富山地方気象台が発表する気象情報、警報・注意報等にも十分留意願います。

【ほ場の見回り等における安全確保】

- (1) 8月27日から大雨により、河川の増水中やほ場が浸水している場合は危険なので近づかない。また、土砂崩れなどの恐れがある場所へは、安全が確保されるまでは立ち入らない。
- (2) ほ場に入る際には、作業道がぬかるみ、路肩が崩れやすくなっている可能性があるため、農業機械の横転等にも十分に注意する。

【大雨対策】

1 大豆・ハトムギ・そば・飼料作物

- (1) 額縁排水溝や排水口の点検、手直しを行い、ほ場の排水に努める。
- (2) 大豆の病害の発生が懸念される場合は、農薬の使用基準を確認し、速やかに殺菌剤を散布する。

2 園芸作物

- (1) 額縁排水溝や排水口の点検、手直しを行い、ほ場の排水に努める。
- (2) 病害の発生が懸念される場合は、農薬の使用基準（収穫前日数）に留意しつつ、速やかに殺菌剤を散布する。

3 家畜

- (1) 家畜を安全な畜舎内で管理し、浸水や土砂流入のおそれがある場所への立入りを防止する。
- (2) 飼料や飲用水を十分に確保し、停電や断水に備える。
- (3) 畜舎周辺の排水路を点検し、排水機能を確保する。
- (4) 停電時に備え、発電機や換気設備の稼働状況を確認する。
- (5) 大雨後は家畜の健康状態や畜舎・設備の被害状況を速やかに確認する。
- (6) アクセス道路の寸断に備え、関係機関との連絡体制を確保する。

事務担当

【農業技術課】研究普及・スマート農業振興係 (076-444-3277)
広域普及指導センター (076-429-5042)